

授業科目 相談援助各論 IV

【担当教員名】 豊田 保	対象学年	3	対象学科	社会	
	開講時期	後期	必修選択	必修	
	単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 相談援助の主要な実践モデルを理解する。 相談援助の主要なアプローチについて理解する。 スーパービジョンとコンサルテーションについて理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 相談援助における治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルを把握する。 相談援助における心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチを把握する。 相談援助における危機介入アプローチ、行動変容アプローチ、エンパワメントアプローチを把握する。 スーパービジョンについて把握する。 コンサルテーションについて把握する。 ケースカンファレンスの方法について把握する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	治療モデル				講義による学習（以下、同じ）
2	生活モデル				
3	ストレングスモデル				
4	心理社会的アプローチ				
5	機能的アプローチ				
6	問題解決アプローチ				
7	課題中心アプローチ				
8	危機介入アプローチ				
9	行動変容アプローチ				
10	エンパワメントアプローチ				
11	スーパービジョンの意義と目的、方法				
12	コンサルテーションの意義と目的、方法				
13	ケースカンファレンスの意義と目的、方法				
14	相談援助における個人情報の保護				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座 8 相談援助 白澤政和、福山和女、米本秀仁 中央法規出版 2015・2,808 円の理論と方法 II			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験またはレポートによって評価する（20点）。出席状況によって評価する（20点）。			【履修上の留意点】 教科書を個々に読了すること。		